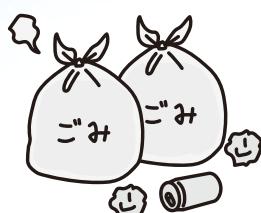




おかじままさのぶ
岡島政信 議員
OKAJIMA Masanobu

プラスチック回収方法の Q. 変更を

A. 分別、収集方法を検討



Q 家庭系ごみ排出量において、一人一日あたりの推移は、平成27年度、61.8g、平成30年度、61.4g、令和2年度、62.0gとほぼ横ばい状態となっています。

向けて、長い目で見て、今から着実に根の張った解決策を進めて行く必要性を強く感じたので、質問をする。

令和4年5月に行われた町政に関する住民懇談会の資料には、「ごみの排出量が54市町村中45位」「ごみのリサイクル率は54市町村中35位」であること、また「地域のサロン活動においても、ごみ減量について担当職員の説明を受け、皆で話し合つなど関心が高いこと」が明記された。

Q きれいなまちづくり条例が令和4年10月1日から施行された。これは、協働によるきれいなまちづくりの推進のため、快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

快適な生活環境の確保を実

A 生活福祉部長
未来を担う子どもたちへの関心を高めていくことは、町としても、とても大切なことだと考えていく。

町では、環境学習施設の見学会、環境フェスティバルを開催し、年齢を問わず環境問題への意識向上と、ごみ問題への意識高揚を図る事業として実施している。

引き続き、小さなお子さんも対象にした事業や啓発を充実していくたい。

A 生活福祉部長
「豊山町きれいなまちづくり条例」には、きれいなまちづくりを推進するにあたり、我々一人ひとりが、環境美化について考えて、行動する必要があること、また、協働により、まちの快適な生活環境の確保に寄与すると目的としている。

我々一人ひとりが、環境美化について考えて、行動する必要があること、また、協働により、まちの快適な生活環境の確保に寄与すると目的としている。

A 生活福祉部長
プラスチックの一括収集



ごみ焼却を行っている名古屋市北名古屋工場

Q 名古屋市は令和6年4月からプラスチック一括回収を行つと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

協働の観点から、ごみを拾うことでもちをきれいにするという目的の「プロギング」を開始し、令和5年度は85名が参加して、ごみを拾つた。

今後は、さらに多くの町民の皆さん方が参加し、住んでいるまちをきれいにできるよう、新たな取り組みを進めたい。

名古屋市は令和6年4月からプラスチック一括回収を行つと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

名古屋市は「令和6年4月から、プラスチック類の収集方法を一括収集へ変更する予定である」と聞いている。

町のごみ焼却は、名古屋市の北名古屋工場に、一括で受けていただいている。

引き続き、名古屋市との連携を含め、分別方法、収集方法を検討していく。

方法は、令和4年4月に施行された法律を踏まえ、町民の皆さまがプラスチック類を一括で排出できるよう、ルート確保や資源収集の仕組みについて調査、検討を進めている。

名古屋市は「令和6年4月から、プラスチック類の収集方法を一括収集へ変更する予定である」と聞いている。